

コード	10202
作成年度	26年度

基本事業評価表

基本事業名称	交流ネットワークの形成
--------	-------------

総合計画の位置付け	
政策名称	にぎわいを創る地域交流の促進
施策名称	しまの交流ネットワークづくり

課コード	105	関係課名
主管課名	総合政策課	

基本事業の目的

国内の地域や学校、団体などの相互交流の体制づくりに努めるとともに、出身者や縁故者などを通じた多様な交流ネットワークの形成を目指し、また新たな交流拡大につなげていくことを目的とする。

基本事業の成果

成果指標名称 1	イベント参加回数	成果指標名称 2	
成果指標の積算根拠	参加回数÷開催数	成果指標の積算根拠	
目標達成年度	平成26年度	目標達成年度	
目標達成数値	1回	目標達成数値	

年		度		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
成果指標 1	目標 A	単位	回	1	1	1	1	1
	実績 B		回	1	1	1	1	-
	達成率 B/A		%	100.0	100.0	100.0	100.0	
成果指標 2	目標 A	単位						
	実績 B						-	
	達成率 B/A		%					

1次評価	現状	離島振興法関係事業で東京のイベントに参加し、町のPRを行っている。また、5月10日を「五島の日」と記念日登録制定されたことを契機に、フォトコンテスト、ゆるキャラ製作など町の魅力を県内外に発信し交流促進に努めている。さらに、長崎県立大学と協定を結び、大学の専門知識を活かして本町の地域づくりや施策に反映させることを目的として取り組んでいる。
	課題	交流ネットワークを形成するためには、人材の把握・育成が必要であるが展開できていない。平成25年12月に5月10日を「五島の日」として正式に記念日登録制定されたことを契機に、本町の豊かな自然景観、特産品等を効果的にPRしていくため、各種団体との連携が必要である。
	改善	各課の連絡を密にし、国県の補助金を活用して交流人口を拡大するための事業を展開できる人材を育成していくとともに、町内の各種団体をはじめ大学や町人会とも連携しながらネットワーク化を図る。

2次評価	五島列島の認知度の向上、観光、物産のPRを積極的に推進していくため、都市部における町人会組織や町とゆかりのある首都圏の大学などのネットワークの拡充を図り、町内の各種団体と連携して情報発信体制の整備充実を図っていくこと。
------	---

3次評価 住民等の意見	
----------------	--

町の対応	
------	--

※3次評価は、住民等の意見があった場合にのみ、再度公表するものとする。

◆基本事業を構成する評価対象事業◆

番号	評価コード	評価対象事業名称	担当課	平成25年度 直接事業費	評価の方向性
1	102020103	長崎県立大学との相互協定事業	総合政策課	1,000千円	(途中) このまま事業を継続
2	102020201	五島の日登録を契機とする交流推進 事業	総合政策課	6,339千円	(途中) このまま事業を継続
3	102020202	首都圏大学生誘致事業	総合政策課	2,861千円	(途中) このまま事業を継続
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
基本事業を構成する評価対象事業の合計事業費				10,200千円	